室戸市教育委員会
令和２年度　自己点検・評価報告書

令和３年８月

1．自己点検・評価

評価ランク　A：優れた取り組みがなされており、成果が十分上がっている
B：問題なく取り組んでおり、一定の成果が上がっている
C：取り組んでいるが、さらなる改善が必要である
D：取り組みが不十分であり、一層の改善・努力が求められる

大項目	中項目	小項目	実績及び評価	
1 教育委員会の活動	（1）教育委員会の会議	①開催状況	○定例会・・・１２回開催（毎月） ○臨時会・・・　４回開催（9月、10月、12月、3月）	B
		②運営上の工夫	○教育振興基本計画及び教育行政方針の策定など重要な教育政策について検討を重ね決定した。	B
	（2）総合教育会議	①開催状況	○８月、２月の２回開催した。	B
		②協議内容	○第３期教育振興基本計画及び教育大綱等の教育政策の検討，協議した。 ○新型コロナウイルス感染症の学校での現状、いじめ及び学力について検討するとともに、令和３年度予算の編成について協議した。	B
	（3）教育委員会と事務局との連携	①教育委員会と事務局との連携	○定例会で事業報告を行うとともに、教育委員会主催の行事等への参加を依頼した。	B
	（4）教育委員の自己研鑽	①教育委員の自己研鑽	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種研修会が中止となる中、市独自の研修会を２回開催し、研鑽に努めた。	B
	（5）学校、教育施設に対する支援や指導・施設の整備	①学校等への訪問・支援	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問を中止した。	－
		②所管施設の訪問・支援	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館、公民館等の施設訪問を中止した。	－
2教育委員会が管理・執行する事務	（1）教育行政の基本的な方針に関すること		○令和２年度教育行政方針及び教育振興基本計画実施計画を策定した。 ○第３期室戸市教育振興基本計画を策定した。	B
	（2）教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		○（制定） 室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置等検討委員会設置要綱　等 ○（一部改正） 室戸市学校給食センター設置条例施行規則 室戸市奨学資金貸与条例施行規則　等 ○（廃止） 室戸市山村留学に関する取扱い要綱 室戸市家庭児童相談室設置運営要綱	B
	（3）学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること		○令和３年３月３１日羽根小学校及び羽根中学校との統合のため、中川内小学校及び中学校閉校。 小学校５校、中学校４校となる。	B
	（4）教育機関の職員の任命その他の人事に関すること		○県費負担教職員、教育委員会事務局の人事異動及び教育委員会事務局職員の処分の決定、並びに社会教育委員等の委嘱及び任命を行った。 ○教職員による不祥事が発生。懲戒処分等を行うとともに、服務規律の徹底を指示した。	C
	（5）教育予算等議会の議決を経るべき議案について意見の申し出に関すること		○補正予算及び令和３年度当初予算の承認 ○室戸市学校設置及び管理条例の一部を改正する条例等、教育委員会条例の承認 ○損害賠償額の決定及び和解することについて	B
	（6）保育所の管理運営及び保育指導に関すること		○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育所訪問は中止した。	—
	（7）保育所の統廃合及び民営化に関すること		○該当なし	—

大項目	中項目		小項目	実績及び評価	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1)学校教育に関すること	①学力向上など教育内容の充実	①子ども達の基礎学力向上と自己学習の定着化及び言語活動や体験活動の充実 ②開かれた学校づくりの推進	○教育版「地域アクションプラン」の実施により、基礎学力の定着や、人権啓発活動に取り組んだ。児童生徒会交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した。 ○学校評価委員会の評価を学校経営計画での検証指標として活用した。	B
		②教職員の資質・指導力向上	①教育研究協議会の活動の充実・支援 ②各教諭の研修参加・自己研鑽の奨励	○教育研究協議会は、新型コロナ感染症拡大防止のため実施回数を削減して実施したが、各教科部会を編成し、研究協議を重ね実践力を高めた。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置・活用により、個別支援並びに各校の支援委員会が充実し、教員の指導力が高まった。 ○授業づくり講座の指定校である吉良川小学校では、考え・議論する道徳の授業実践により教員の指導力が高まるとともに、外部への授業公開も２回実施した。 ○中学校授業改善プランに取り組み、 授業実践力研修を行った。	B
		③家庭・学校・地域社会の連携教育の推進	①ふるさと教育の推進 ②家庭での生活・学習習慣の定着化	○室戸ユネスコ世界ジオパーク学習や、室戸社会科副読本の活用などにより、ふるさと教育の推進に取り組んだ。 ○佐喜浜地区においては、地域学校協働本部の活動により地域との連携が深まった。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」や家庭学習の習慣化等を、保小中及び家庭が連携して取り組んだ。	B
		④教育施設の整備充実	①学校施設の教育環境の充実	○GIGAスクール構想により一人一台端末を整備した。 ○全小中学校のＬＥＤ照明化の設計を行った。	B
		⑤教育研究所の充実	①教育実態の調査・分析及び資料の作成 ②不登校など児童生徒指導への早期対応	○全国学力学習状況調査を分析し、授業改善のための資料を作成して各学校に提供した。 ○教育支援センターの設置・運営、及びＱＵアンケートの実施、取りまとめを行い、個別支援の充実や学校の取り組みが深まった。	B
	(2)生涯学習に関すること	①生涯学習の振興	①公民館活動の充実（各種講座の開催）	○地域住民の文化の向上や交流機会拡大のために、公民館において、世代間交流事業やシルバーセミナー、文化祭などを行い、生涯学習活動を通じた健康づくりを進めた。また,放課後子ども教室と連携を図り、公民館を核とした世代間の交流の拡大・充実を行い、地域コミュニティーの活性化につなげた。	B
		②文化の振興	①室戸市美術展覧会の開催 ②文化財保存事業の推進 ③吉良川まちなみ保存地区の整備	○室戸市美術展覧会を開催し、創作意欲の向上や芸術・文化活動の振興を図るとともに、児童・生徒の作品制作を通じて美術教育の推進を図った。 ○無形民俗文化財の維持のため、活動支援を実施した。国指定の史跡を目指し、最御崎寺の遍路道の調査を行い、文化財保護に取り組んだ。 ○伝統建造物保存地区内の建築物の修復を国・県と連携し行うとともに、保存会と連携を図り、地域イベントの開催やガイドの養成に取り組んだ。	B
		③生涯スポーツの振興	①市民体育大会の開催 ②室戸岬健康マラソン、室戸岬一周駅伝、県武道室戸大会の開催 ③スポーツ少年団大会の開催	○市民の体力向上や健康増進のために各種スポーツ大会等を開催した。 ○新型コロナウィルス感染症拡大防止のためマラソン、駅伝等多数の大会が開催できなかった。 ○少年野球春季選手権大会やスポーツ少年団駅伝大会や東部学童水泳選手権を開催し、県内スポーツ少年団等とのスポーツ交流が充実した。	B
		④青少年補導センターの充実	①補導活動及び相談事業、健全育成活動	○警察・学校等関係機関と連携を図り、放課後市内巡回や夜間特別補導の実施や非行防止教室等の開催により青少年健全育成に取り組んだ。	B
		⑤人権尊重理念の普及・高揚	①人権教育事業の推進	○人権教育推進講座及び人権週間記念講演会の開催、人権教育関連団体等との連携により、人権教育の普及・拡大に取り組んだ。	B
		⑥図書館サービスの充実	①各種図書活動の充実・推進	○新たに導入した図書館システムの充実に取り組み、WEB上での蔵書検索や館内のレイアウトの見直し等により利用者の利便性が向上した。 ○巡回図書、ブックスタート、おはなし図書館等の実施により、乳幼児期から読書に触れ親しむ機会が拡充した。 ○毎月１回成人対象の読書会を開催し、読書意欲の向上を図った。 ○書家中川雨亭常設展を設置し、書の普及に努めた。	B
	(3)保育所に関すること	①保育所の入所決定事務	①適正かつ円滑な入所の決定	○入所申請書を十分精査し、保護者との面接を通じて生活状況を把握し、適正な入所決定事務を行った。	B
		②保育料に関する事務	①保育料の決定及び徴収率の向上	○保育料決定事務を適正に行うとともに、徴収率向上のため、口座振替の推進や督促、催告、差押等の滞納処分を行った。	
		③保育環境の整備充実	①安心・安全な環境づくりの推進	○新型コロナウイルス感染症対策の徹底、公立保育所のＬＥＤ照明化の設計を行った。	

２．自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

【総合評価】

１教育委員会の活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常の研修会等が中止され、小中学校をはじめとする教育施設への視察も実施することができなかったが、市独自の研修会を開催し、研鑽に努めたことは評価できる。

２教育委員会が管理・執行する事務

中川内小中学校の閉校については、学校の適正規模や室戸市の教育課題の対策を住民及び教育委員会が、十分に検討し決定したものであり評価できる。

しかしながら、教員、職員の不祥事が発生し、学校及び教育員会の信用が失墜したことは大変遺憾である。
今後は、教員、職員の服務規律の徹底や、不祥事を生じさせない対策等再発防止に取り組み、信用回復に努めること。

３教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

学校教育については、一人一台端末の整備などＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた施策が実施された。

今後は、タブレット端末を利用した授業づくりなどＩＣＴ教育の推進に期待する。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な行事等が中止となったが、小学校の教育課程が全面実施されたことにより、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善や、教職員の指導力・資質向上のための研修会の実施など、生きる力を育む教育に注力されたい。

また、地域学校協働本部の充実等により、家庭、保育、小学校、中学校、高校との連携が深まっている。

今後は、コミュニティスクールへの移行に努力されたい。

生涯学習については、地域住民に公民館を核とした世代を超えた学習機会を提供し、地域コミュニティ教育に積極的に取り組んでいる。

また図書館サービスの充実は、新たに導入した図書館システムの積極的な活用を推進し、WEB上での蔵書検索による利用者の利便性の向上や読み聞かせ活動などで本好き・読書好きの子どもを育成する工夫がなされている。
今後さらに生涯スポーツの推進、人権教育の充実、伝統文化の継承及び文化財の保存・活用等の積極的な取組を期待する。

保育所運営は、子ども達の健やかな育ちと安全を最優先とし、保護者や地域から安全・安心で信頼される保育所として努力するとともに、令和２年度は新型コロナウイルス対策に取り組み、安心安全な保育を行っている。

今後においても、保育士の確保及び、防災対策、感染症対策等に万全を期すとともに、新しい保育所保育指針に基づいた保育の実践を期待する。

保育所、学校教育、生涯学習を通して、「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、生きる力を育む」教育行政の推進を期待する。

以上、総合評価は『良好』と認めます。

令和 3 年 8 月 12 日　　評価者　：　松岡敏幸